令和２年度研修責任者研修（保健師実務責任者研修）事前課題について

事前課題１　能力開発・成長分析シート

【目的】

研修当日のグループ・ワークを通して、自分の管理的立場の保健師としての「ありたい姿」に近づくための実践計画を考えられるようになる。

【目標】自分自身の能力形成や成長について振り返りを行うとともに、強み・弱みに気づくことができる

課題を通して、どのような実践や教育、経験が成長を促すのか考え、自分と部下の人材育成に役立てていきましょう。また、今後どのような場面で自分の強みを発揮し、どのようにして課題（弱み）を達成（克服）するか考え、管理者としての成長を計画的に図っていきましょう。

事前課題２　公衆衛生看護管理実践のリフレクション（振り返り）シート

【目的】

自分の管理的立場としての公衆衛生看護管理実践について振り返り、内省を深めることで

看護管理能力の向上をはかる。

【目標】

○気づいていなかった自己の問題、解決に至っていない自己の問題に気づき、解決の手立てを

見出す

○新たな視点を見出し、振り返る（自立的内省をする）習慣を身に着ける

○自らの看護管理観に気づき、責任職としてのあり方や心構えの基軸をつくりあげていく

○管理職業務から得られた「知」を可視化し、経験知として蓄積していくことができる

課題を通して、自分の実践知を体系的に獲得していくとともに、今後の管理実践課題を明確にして、今後の成長につなげていきましょう。

＜記述のポイント＞

**状況や場面と気持ちの記述・描写**

※Gibbsのリフレクティブサイクルの「記述・描写」「気持ち」の段階に該当

・いつ・どこで・誰が・何をどのようにしたのか/しようとしたのか・なぜそうしたのか・その結果どうなったのか（５Ｗ１Ｈ）を記述・描写する．＝状況を再構成する

・詳細かつ具体的で、無駄なく、そこにいなかった人でも、その状況が全体的によくわかるように記述・描写する

・読んだ人が、その場にいるかのように（その状況や記述・描写した人の行動、考えや思いがよくわかるように）記述・描写する．

・事実を追体験できるように、対話を交えながら記述する

・そのときどのように感じたのか、何を考えたかを記述・描写する

・肝心な事柄を抜かさないように注意する

・できる限りの語彙を用いて、専門用語の使用を避ける

・記述と分析や評価とのバランスを考える

**分析（批判的分析/クリティカルな分析）：**自分に問いかけを繰り返してみて、それを記述してみる　※Gibbsのリフレクティブサイクルの「評価」「分析」の段階に該当。論理的思考、水平思考、批判

　　的思考を使う

　※できるだけ一般化された言語（抽象度の高い言語）で表す（概念化）

・自分のネガティブな感情やポジティブな感情を認識して、その感情が自分の行動や判断にどんな影響を与えたか考えてみる

・自分の行為について、掘り下げて考えてみる

「何がうまくいったか？」「よかったことは何か？なぜそう思うか？」「他の人が行ったことでよかったと思うことは何か？なぜそう思うか？」「何がうまくいかなかったか？自分が思っていたようにいかなかったことは何か？なぜその結果になったと思うか？」

・その状況についての思い込み（当たり前のことと認識していること）について明確にする

「この状況では、当たり前のこととして存在していることがあるか？」「この状況を本当に性格に記述・描写できているか？思い込みは含まれていないか？」

・自分自身への問いかけを繰り返す

「なぜそう感じたのだろう？」「なぜそうしたのだろう？」「そう思わせたきっかけや原因は何だろう？」「何か過去の出来事が関係しているのだろうか？」

・他の考え方や行動、判断はなかったか、新たな考えや行動を探る

・自分自身の視点だけではなく、他者の視点からも考えてみる

**結論：**※Gibbsのリフレクティブサイクルの「結論」の段階に該当

　※一般化された言語（抽象度の高い言語）で表す（概念化）

・どのようにすれば、その状況を改善できるか

・次にこのような状況に出会ったらどうするか

・この経験からの学びや自分自身の変化

**実践上の課題・必要な取組み**

※似た状況が起こった時の行動計画を意味する、Gibbsのリフレクティブサイクルの「行動計画」とは違い、管理者としての自己の課題と必要な取組みを記述する

※一般化された言語（抽象度の高い言語）で表す（概念化）

・今後似た状況が起こった時のために、どのような備え（経験・学習）が必要か

どうやって、必要な知識・スキル・能力を身に付けるか